

各研究科の戦略的な研究の取組

人文学異分野共創プラットフォームの構築 ～人文学研究科～

社会的インパクト

海外協定校との共同教育
研究プログラムの開発

異分野共創型の大学の地域連携
の全国的なモデルを形成

文理横断的・異分野共創的な
「知」を備えた人材の育成

プラットフォーム

人文学推進インスティテュート

工学部との共同教育プログラム

神戸オックスフォード
日本学プログラム
(KOJSP)

- ◎留学生のユニーク型受入プログラムの全学的展開・国際共修の推進
- ◎オックスフォード大学の教員との学术交流
- ◎企業とのプログラム共同開発

日本語日本文化
教育プログラム

- ◎アカデミックライティング
- ◎日本語教育インターンシップ
- ◎国立国語研究所等と国際会議、学会等の共同開催
- ◎古典籍データベース化

文化交渉学研究
プロジェクト

- ◎文化交渉学の推進
- ◎国際的研究機関との共同研究・若手研究者育成（北京大、復旦大、北京外大、パリ・ナンテル大他）
- ◎INTERFACEing
- ◎海港都市研究

地域連携センター

- ◎まちづくり支援
- ◎歴史資料の保全・活用
- ◎人材育成
- ◎情報共有や交流促進

倫理創成
プロジェクト

- ◎科学技術倫理
- ◎生命倫理
- ◎防災教育
- ◎人工知能の倫理
- ◎東アジアのジェンダー研究

神戸雰囲気学研究所
(KOIAS)

- ◎新領域「雰囲気学」の創設、推進
- ◎欧州・アジア・米州の大学・研究機関との連携による国際拠点形成

歴史文化資料保存の大学・共同利用機関ネットワーク事業（令和4～9年度）
神戸大・東北大・人間文化研究機構の協定による歴史文化資料保存のための共同研究事業の展開

ステークホルダー

エンゲージメント

- 国内外の大学
 - * オックスフォード大学
 - * 北京外国語大学
 - * 北京大学・復旦大学
 - * パリ・ナンテル大学
 - * ローマ第2大学
 - * トリーア大学
 - * 国立台湾大学 他

- 学内組織
 - * 未来世紀都市学研究アライアンス
 - * 都市安全研究センター
 - * 他部局との教育研究プログラム（人社系学部・工学研究科・附属図書館）

- 自治体
 - * 兵庫県・神戸市・豊岡市・丹波篠山市・三木市 他
- メディア
 - * 神戸新聞・サンテレビ
- 企業
 - * 島津製作所

- 人間文化研究機構
<協定機関>
 - * 国立歴史民俗博物館
 - * 国立国語研究所
 - * 国文学研究資料館
 - * 国立民族学博物館

〈文化研究〉の新領域を切り拓く研究体制 ～国際文化学研究科～

基幹研究

■人文系・社会系の諸分野の総合をつうじて〈文化研究〉の深化へ

地域文化系 文学、歴史学、社会学、芸術研究等の連携をつうじて日本・アジアから欧米まで世界各地の地域文化をトータルに解明

異文化コミュニケーション系 人類学、政治学、比較文化研究など複数の文化間の接触・対立・交錯のダイナミクスを多角的に探究

現代文化システム系 社会学から思想史、美学・芸術文化研究まで現代文化のシステム全体を理論と実践の両面からトータルに解読

■先進的コミュニケーション研究をつうじて〈文化研究〉の革新へ

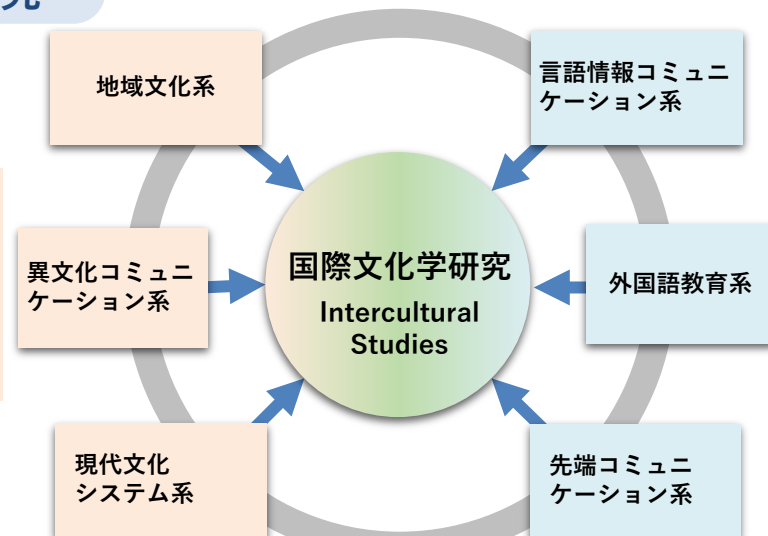
言語情報コミュニケーション系 言語学、心理学、情報科学を軸にコミュニケーション行為とその文化的背景について多角的に解明

外国語教育系 言語学、心理学、教育学から文学テキスト分析まで多角的な視点から外国語教育に関する理論と実践を総合的に研究

先端コミュニケーション系 国際電気通信基礎技術研究所（ATR）との連携

人文系・社会系研究

コミュニケーション研究



発展研究

国際文化学研究推進インスティテュート

国際文化学に関する新領域・分野横断的研究を推進

学際的/国際的共同研究の開発と促進、若手研究者への研究支援により時代の求める高次元の研究成果をグローバルに発信

《3つのセンター》

移住・移民研究センター

移住・移民をテーマとする学際的/国際的共同研究プロジェクト・シンポジウム等を推進

地域連携センター

自治体、NGO等との連携事業の企画

アフリカン・コンヴィヴィアリティ・センター

アフリカの研究者との共同研究、交流など頭脳循環を促進するための事業を推進。

若手研究者の支援・研究力強化

- ・次世代セミナー
- ・科研費申請書説明会
- ・修士論文の保管・閲覧用開示

《主な活動》

最近の成果発信

- ・ *Global Perspectives on Migration and Multiculturalisation*. 5 vols. (Routledge, 2022-)
- ・ *Bouncing Back?: Critical Reflections on the Resilience Concept in Japan and South Africa*. (Langaa, 2022)

移住・移民に関する研究

移住・性労働・人身取引における経験とネットワーク

伝統文化や観光等を軸とする地域連携

神戸市、姫路市、世界観光機関（UNWTO）駐日事務所

日本語教師養成研修の拠点事業と教材開発

国際文化学研究推進インスティテュート

受託研究

- ・ 人間文化研究機構(NIHU)グローバル地域研究 東ユーラシア研究プロジェクト (2022年度採択)
- ・ 北極のグローバル変化における先住民のウェルビーイング実現 (2025年度採択)
- ・ 神戸市におけるサービスデザインの人類学研究 (2022年, 2023年, 2025年度)

国際的共同研究

- ・ 三重データコーパスを用いた日本語韻律の習得・評価に関する多面的研究
- ・ 「妖術」はどこから犯罪か?—旧英領アフリカ諸国の司法判断の合理性
- ・ アジアにおける《多様な性》—英語ジェンダー二元論を超える試み

後期課程学生、ポストドクを交えた共同研究

アフリカからの研究者・留学生の受け入れ・共同研究の推進

多世代・多様な人々の善き生（Well-being）の実現

人間の発達とそれを支える環境を対象とした文理融合・学際的研究

都市と里山研究 ESD創成研究 理系人材育成研究 スキル研究 共生社会開発研究



- ・心身の発達と健康
- ・人間の感性と発達
- ・身体活動と人間行動の発達
- ・人間形成と発達



国際共同研究
産学官民共同研究
他部局間学内共同研究

発達支援インスティテュート

地域との連携 課題解決
多層・多面的なコミュニティ創成
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
心理教育相談室
サイエンスショップ
教育連携推進室
アクティブエイジング研究センター



- ・人間社会の基盤となる自然環境・高度化した情報環境
- ・生活環境を豊かにする技術・資源
- ・人間発達を支援する社会環境



人間発達専攻

個人の創造的発達の要因の解明
(心理系, 教育系, 表現系, 行動系)

人間環境学専攻

人間の発達を促進し, 支援する環境要因の解明
(自然科学, 数理情報科学, 生活科学, 社会科学)

人間発達環境学研究科

複雑な諸課題を抱く現代社会における, 人のよりよい生 (Well-being) の実現を目指した知の構築をはじめとする, 人が潜在的に持つ能力の開花について, またそのために必要な環境について, 原理的, 実践的及び国際的に追究する研究

国際性・先端性に富んだ研究の展開 ～法学研究科～



法学研究科の研究目的

法学・政治学の基礎的研究並びに応用的研究を行うと共に、国際性・先端性に富んだ研究を展開する

2030年に向けた目標

若手研究者を含む個々の研究者による多様な研究活動を推進すると共に、複数の研究者による国際共同研究・異分野共創型研究の展開を可能とする人的・物的基盤を確保することで、地域から地球規模に至る広範囲な社会課題の法的・政治的解決につながる研究成果を持続的に創出する

具体的な戦略

国際共同研究・異分野共創型研究の基盤構築

- ・ オンラインも活用しての、国際的に活躍する研究者の招聘と共同研究の実施
 - － 2025年度の受入研究員数：11名（内、外国籍4名）
- ・ シンポジウム・セミナー等を通じた国際研究ネットワークの拡大
- ・ 社会システムイノベーションセンターなどとの異分野共創型のプロジェクトの推進
 - － プロジェクトの例：デジタル化社会の比較法制度研究プロジェクト

研究活動を充実させる環境づくり

- ・ バイアウト制度（研究の遂行に伴う教育業務の代替実施）の積極的な利用による授業負担の軽減と研究時間の拡大
- ・ 国際的に評価の高いジャーナル（Web of Scienceジャーナル）にて外国語論文を公表した研究者に対する研究費の追加付与
 - － 2024年度のインセンティブ制度申請数：5件
- ・ 論文や書籍の英文校正費用の補助

競争資金獲得のためのサポート体制の充実

- ・ 競争的資金（科研費や外部資金）を獲得するためのFD・ランチョンセミナーの定期的な開催
 - － 2025年度の科研費の新規採択件数：13件（継続件数は38件）
 - － 採択された大型科研（基盤A）の例：
「国内公法の越境性」の一般理論の構築：解釈論・ツールボックス立法論・理念的立法論
- ・ 科研費採択者・大型外部資金獲得者へのインセンティブ(研究費)の支給

若手研究者のための支援

- ・ 若手教員の在外研究による先端研究吸収・ネットワーキング推進
- ・ 博士課程の学生に対する研究支援、及び教員との共著を促進
 - － リサーチアシスタントとして雇用、先端研究に携わる機会を提供。同時に、研究プロジェクトのマネジメントを指導
 - － 神戸大学博士学生フェロシップ制度やSPRING事業の下での研究資金確保を促進（2025年度は計8名採択）
- ・ 日本学術振興会特別研究員（DC1、DC2）への応募支援と特別研究員（PD）の受入
 - － 助成金情報の提供、申請書の準備のサポート

世界水準を見据えた国内トップレベルの研究 ～経済学研究科～



経済学研究科が掲げる「Research Vision 2030」

< ビジョンを支える三本柱 >

異分野共創型研究を加速

理工系分野との共創

- ・データサイエンス
- ・計算科学
- ・ネットワーク科学

生命系分野との共創

- ・地域医療学
- ・こころの生涯健康学

人文系分野との共創

- ・ウェルビーイング研究
- ・学校教育研究
- ・ジェンダー規範研究

社会科学系分野との共創

- ・法学
- ・政治学
- ・経営学
- ・会計学

QS世界大学ランキング（分野別）
国内最上位・世界トップ100を目指す

QS World University Ranking by Subject
(Economics and Econometrics) をガイドラインとして
研究力向上とレピュテーション・マネジメント強化

2030：国内上位から世界トップ100へ

独自の研究奨励

- ①卓越した研究業績
(TOP 5 誌への掲載、SSCI論文 (WoS論文) 年10本以上、
著作の日経経済図書文化賞・エコノミスト受賞)
⇒ 1年間のリープ
- ②優れた研究活動 (TOP50誌への掲載、著作の高い評価)
⇒ 個人研究費の追加配分・部局独自のコースバイアウト

2025：世界367位 国内10位

Academic Reputations	Citations per Paper	H-index Citations	Employer Reputations
国内8位 世界172=位	国内6位 世界201+位	国内5位 世界201+位	国内8位 世界201+位

地域連携型研究を加速

神戸市との連携

- ・中長期的な政策課題に対する助言・共同研究・人材育成
- ・大規模マンション建設の影響と社会課題
- ・救急需要対策としての救急搬送の効率化

兵庫県等との連携

- ・加点式健康診断研究
- ・持続可能な農業・農村の発展
- ・レジリエントな都市経済

関西との共創

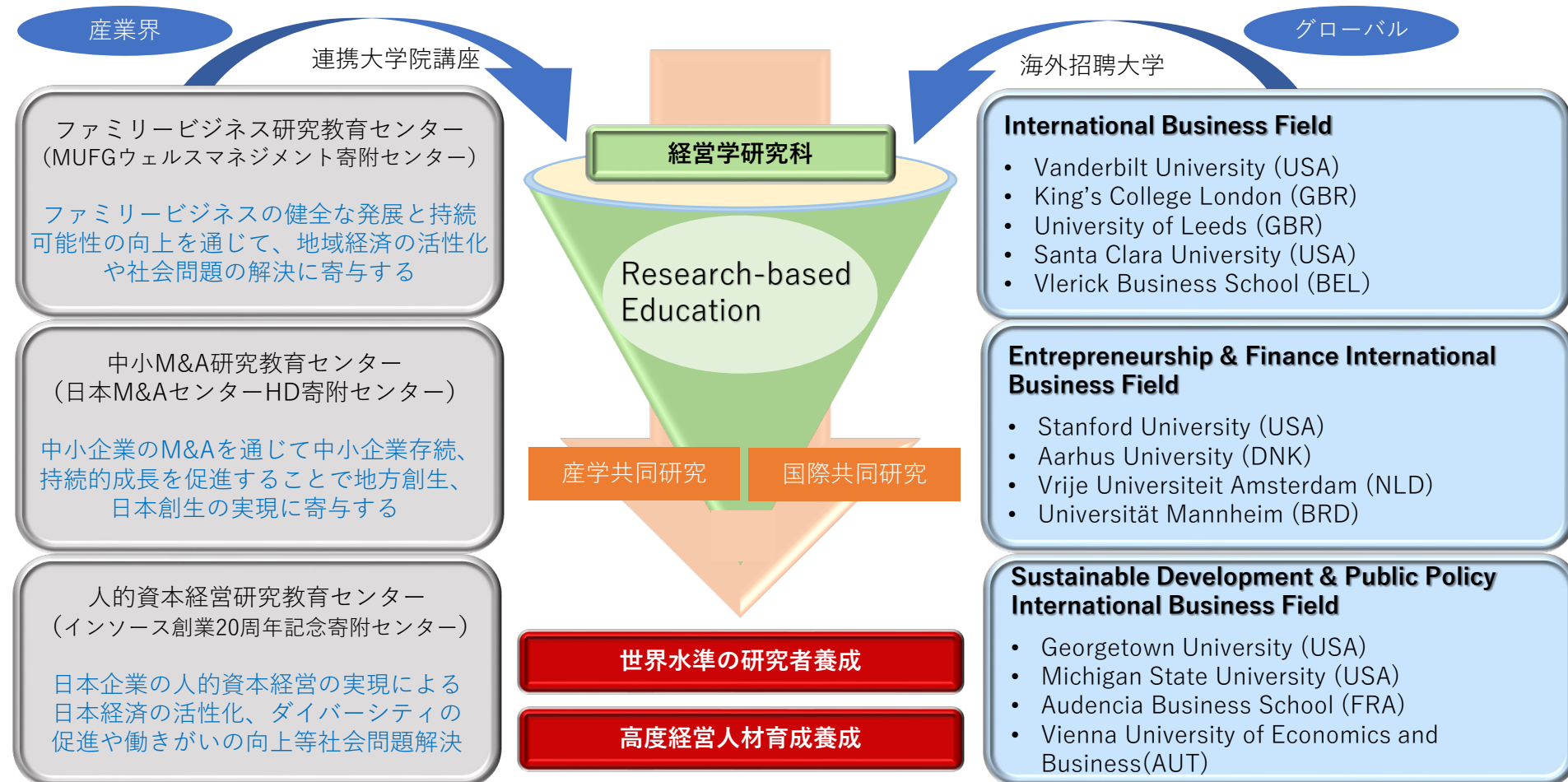
- ・大阪・関西万博を契機とした関西経済の活性化
- ・ポスト万博を見据えた観光戦略
- ・中国経済の関西経済への影響と展望

オープンアカデミズムに基づく研究戦略

～経営学研究科～



経営学研究科は、経営学のトップスクールとして、「オープンアカデミズム」を研究の理念とし、「研究に基礎を置く教育」(Research-based Education)を展開しています。産業界からの寄附による研究教育センターおよび連携大学院講座を設置して産学共同研究を展開して社会実装を行い、KIMAP in Managementの招聘教授らを中心に国際共同研究を展開し、世界的なレベルでアカデミズムと産業界の課題解決に取り組み、成果を社会に発信しています。



先端卓越研究の臨場感にひたる ～理学研究科～

理学、それは探求と創造の世界

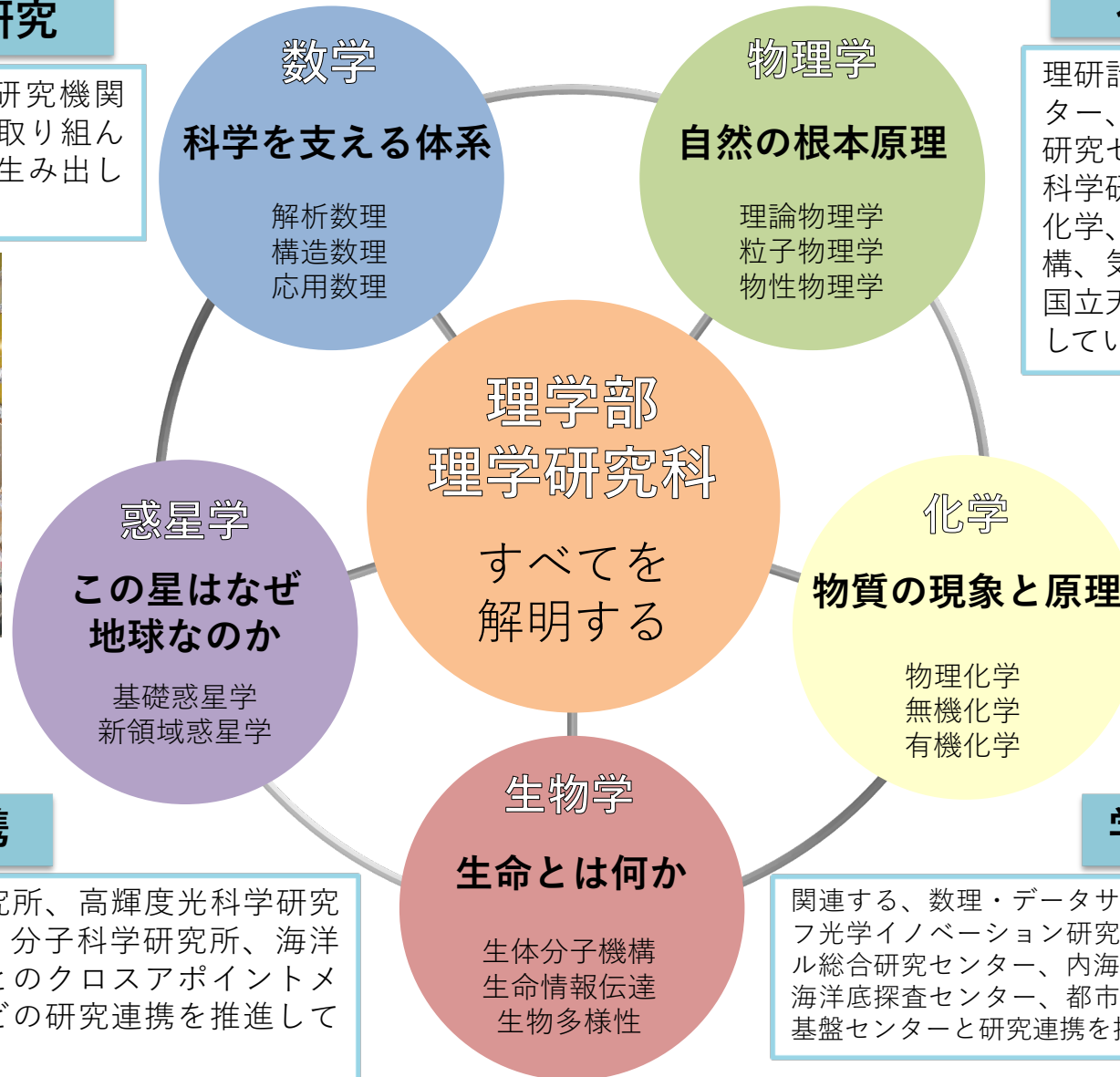
国際共同研究

CERNなど海外の研究機関で国際共同研究に取り組んでおり研究成果を生み出しています。



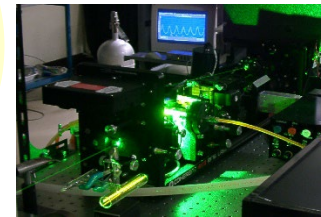
国内研究連携

東京大学宇宙線研究所、高輝度光科学研究センターSPring-8、分子科学研究所、海洋研究開発機構などとのクロスアポイントメントや共同研究などの研究連携を推進しています。



連携講座群

理研計算科学研究センター、理研生命機能科学研究センター、高輝度光科学研究センター、住友化学、海洋研究開発機構、気象庁気象研究所、国立天文台と連携し設置しています。



学内センター群

関連する、数理・データサイエンスセンター、ライフ光学イノベーション研究センター、バイオシグナル総合研究センター、内海域環境教育研究センター、海洋底探査センター、都市安全研究センター、研究基盤センターと研究連携を推進しています。

GLOCAL MEDICAL INNOVATION ECOSYSTEM

基礎研究から社会実装まで一貫した国際医学研究開発拠点の形成
AI・DXを駆使した基礎研究、臨床研究、社会実装の展開

▲ J-PEAKS事業 2023-2028

🔗 バイオものづくり拠点
世界をリードする研究開発

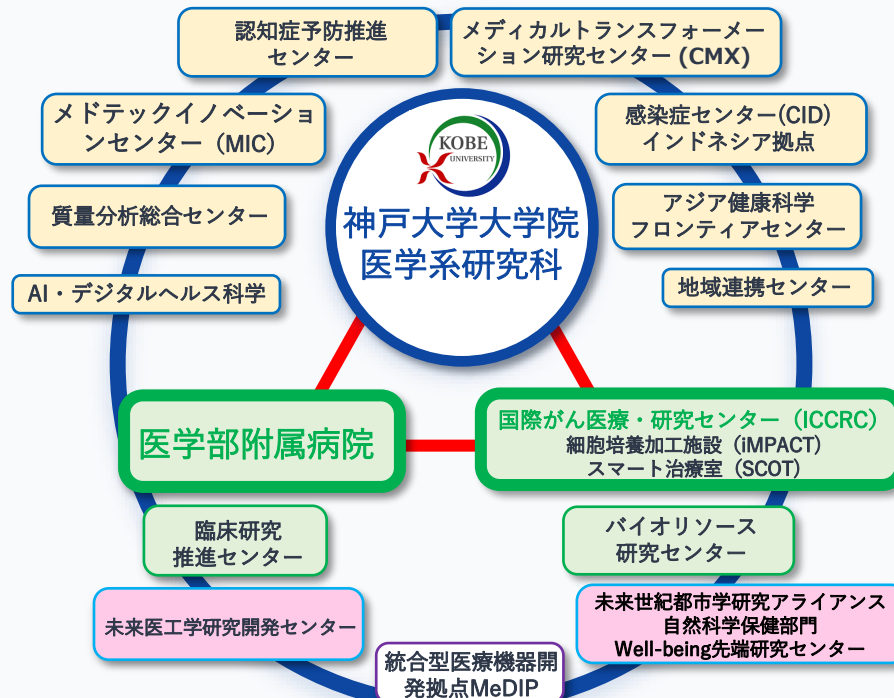
🎵 AI・DXを駆使した
研究・臨床環境の効率化

🌐 グローバル機能強化
イノベーション創出の加速

▲ HK²-MIRAI事業 2025-2027

▲ 次世代研究者挑戦的研究
プログラム 2021-2026

▲ グローバル・スタートアップ
キャンパス構想 2025-2027



連携ネットワーク

学内連携

工学研究科 法学研究科 システム情報学研究科
科学技術イノベーション研究科 人間発達環境学研究科
バイオシグナル総合研究センター 学術・社会共創機構

学外連携

理化学研究所 Spring-8 シスメックス メディカロイド
計算科学研究センター富岳 神戸医療産業都市 国立健康危機管理研究機構
国立循環器病研究センター 医薬基盤・健康・栄養研究所
兵庫県 神戸市 兵庫県の各自治体
広島大学 熊本大学 徳島大学 大阪大学 神戸薬科大学
兵庫医科大学 兵庫県立大学 情報通信研究機構

国際連携

ワシントン大学 オスロ大学 トーマスジェファソン大学
クイーンズランド大学 アイルランガ大学 ガジャマダ大学

基礎研究

臨床研究

社会実装

- 先端計測・イメージング設備の共用化オープンラボ
- 異分野共創拠点
- 3拠点連携エコシステム
楠(医学) × 名谷(保健) × ポートアイランド(医工)
- 重点施設整備
神戸大学CCRC・健康長寿教育研究棟
DBLR健康長寿拠点
- DX基盤・データセンターの構築と活用
- 最先端医療の提供と国際化、持続可能な地域医療システムの構築支援
- 健康長寿社会への貢献：予防医学・先制医療による健康寿命の延伸
- 医療創成工学科による革新的医療機器、AI機器の開発
- 認知症予防「コグニケア事業」の発展とウェルビーイング社会の実現
- 国内地域医療課題を解決しWorld-wideな医療課題解決につなげる

ものづくり、ことづくり、そしてずっと続くしあわせづくり



～工学研究科～

5つの専攻と研究センターを縦串・横串とした連携により、**学務と実務を融合した科学技術の推進・自主研究の尊重と社会実装の実現・産学融合によるイノベーション創出**を志向します。「物（もの）づくり」がきっかけとなって生み出される「事（こと）づくり」を重視し、その先にある「誰もが幸福な未来社会の実現」を目指します。

工学研究科各専攻



建築学

人と地球に関わる課題に応え、安全で豊かな生活空間をつくる



市民工学

世界市民の安全・安心と幸福に貢献する



電気電子工学

エレクトロニクスの技術革新により持続可能で豊かな社会を実現する



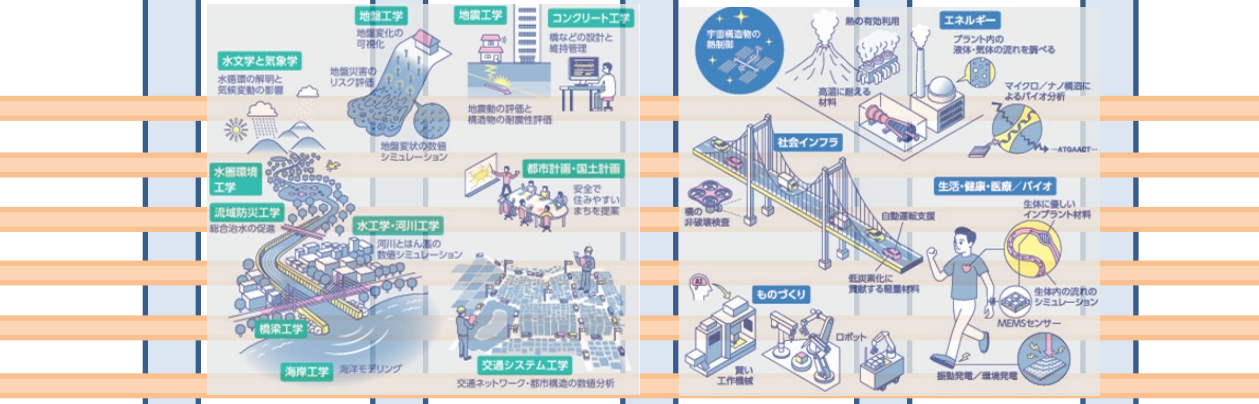
機械工学

持続可能な社会を支えるために機械のブレイクスルーに挑戦する



応用化学

応用化学により人の生活を支え、未来を拓く



工学研究科附属研究センター

微細加工プロセス技術センター

界面科学研究センター

複雑熱流体工学研究センター

先端スマート物質・材料研究センター

レジリエント構造研究センター

医療デバイス創製医工学研究センター

減災デザインセンター

グラフィクスリテラシー教育研究センター

神戸大学研究センター

都市安全研究センター

先端バイオ工学研究センター

先端膜工学研究センター

未来医工学研究開発センター(医工連携)

数理・データサイエンスセンター

バイオシグナル総合研究センター(農工連携)

サイバーとフィジカルをC³でつなぐシステム情報学の新展開 ～システム情報学研究科～



C³ユニットを核とするネット
ワーク型教育研究体制を構築し、
分野融合研究を加速

(C³: Co-Creation and Collaboration)

分野融合

C³ユニットの例

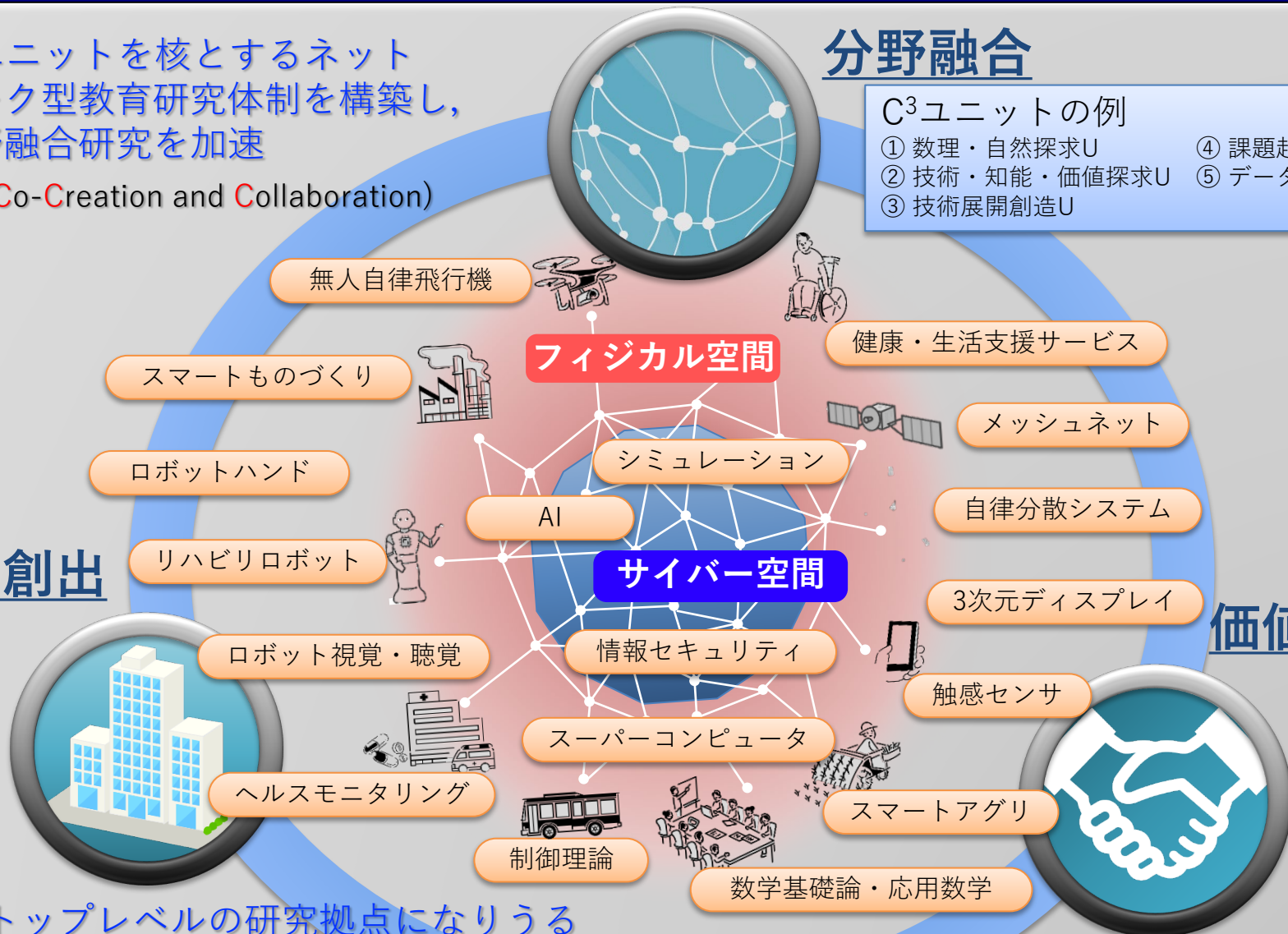
- ① 数理・自然探求U
- ② 技術・知能・価値探求U
- ③ 技術展開創造U
- ④ 課題起点創造U
- ⑤ データ活用創造U

拠点創出

世界トップレベルの研究拠点になりうる
挑戦的な研究の萌芽を育て、強力にバックアップ

価値共創

データ・計算・システムを基軸として他部局
との連携・協働を強化し、価値共創を積極的に推進



地球規模の農業発展に資する研究の創出 ～農学研究科～



研究目標

自然及び人工生態系の保全を図り、衣食住の基となる生物資源の生産・管理・利用と開発を通じて人間社会に貢献する「持続共生の科学」を理念とし、「食料・環境・健康生命」に関わる諸問題の解決を目指す

研究アプローチ

食料共生システム学

農業工学及び農業経済学の知識と技術を協働し、食料の生産者と消費者が環境保全型持続社会を通して共生するための**生産基盤構築から流通・消費**に至る全プロセスの体系化を図る

資源生命科学

人類生存の根本的課題である食料生産の質と量の向上を図るため、**動植物遺伝資源の探索・開発**と改良を担い、21世紀の食料生産に貢献する

生命機能科学

農業と食料の基本となる生命現象を化学・生物学の両面から解明し、**農産物及び食品の安全性向上と機能開発**を通じて人の健康の維持・増進に貢献する

附属センターとの密接な研究連携

食資源教育研究センター

動植物資源の遺伝的評価に基づき、持続的な育種改良システムの構築を図る

食の安全・安心科学センター

食品安全・食料安全保障に関する様々な課題について総合的に取り組む

地域連携センター

地域との知の連結点となり、農山村地域の問題解決や価値創造に貢献する

研究科の取り組み

研究基盤の構築

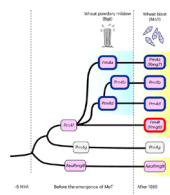
- 競争的資金を獲得するためのFDセミナーの開催
- 採択された科研申請書の研究科内共有
- 研究テーマと企業・学術機関との戦略的連携

国際的な着眼点・競争力を持つ研究成果の発信

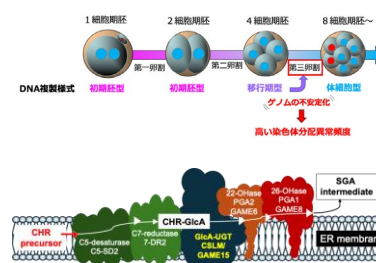
- 国際共同研究成果の発信推進
- 国際的に評価の高い学術誌での発表推進

世界の農業に貢献する進行中の研究例

国際的に評価の高いジャーナル（Web of Science）に掲載



コムギもち病抵抗性遺伝子によるうどんこ病の認識



マウス初期胚の型破りなDNA複製様式

ナス属アルカロイド合成の鍵を解く

異分野共創による海洋政策科学の確立 ～海事科学研究科～



海から地球の未来を考える

船舶・港湾物流のゼロエミッション

- ・代替燃料と自律運航船
- ・船底防汚技術
- ・港湾サイトの電化と再生エネルギー利用
- ・Big Dataを活用した運航の最適化
- ・フィジカルインターネット (PI) 対応

海洋再生可能エネルギー

- ・洋上風力
- ・洋上太陽光
- ・潮力・波力
- ・新水素エネルギー
- ・グリーン水素
- ・複合プラットフォームの開発と人材育成

気候変動による海洋環境激変 その把握と社会課題解決

- ・異常気象
- ・海面上昇
- ・沿岸域の災害
- ・海洋ゴミ
- ・酸性化
- ・酸素欠乏
- ・栄養バランス

多機能練習船「海神丸」

海洋調査(海洋観測、海底探査)、運航データ活用など、高度な知識や技術を身につけた海洋人材(技術者、研究者)の育成と輩出、優れた研究の発信、海神丸の研究利活用の拡大と推進、社会貢献を目指す

国際共同研究

- 北米** テネシー大、アイオワ大、シャープブルック大
- 欧州** アイスランド大、ストックホルム大、ブレーメン大、ハノーファー大、ドレスデン工科大、ストラスブール大、ウィーン工科大、グランサッソ科学研究所
- オセアニア** カンタベリ大、メルボルン大、オーストラリア海事大
- アフリカ** ナミビア大
- アジア** 中国科学院、高雄科技大、デリー大、インドネシア UGM、カセサート大、マレーシアUPM、国立陽明交通大、武漢理工大、韓国海洋大学校

国内外機関との共同・受託研究

東京大、東京海洋大、北大、京都大、名古屋大、大阪大、広島大、徳島大、九大、大阪府大、兵庫県立大、早稲田大、慶応大、JAXA、JAMSTEC、NEDO、AIST、NIMS、NIES、QST、JMETS、JST、海上・港湾・航空技術研究所、日本船舶技術研究協会、日本海事検定協会、笹川平和財団、環境再生保全機構

連携講座・共同研究講座

海洋環境計測科学講座 (JAMSTEC)
量子科学技術海洋応用講座 (QST)
イノベーション・コスモロジー共同研究講座
((株)リードヘルスケア、(株)Dstyle ホールディングス)

学内連携

海洋底探査センター
内海域環境教育研究センター
水素・未来エネルギー技術研究センター

海上安全、海事海洋産業振興、
海洋環境保全、
再生可能エネルギー開発
などに資する研究を展開し、
海事海洋分野へ貢献する

実海域モニタリング

AI

海洋ロボット

液体水素輸送技術

洋上風況解析技術

海洋開発技術

材料開発

海洋調査・探査

気象海象調査・解析

環境調査・分析

海洋法

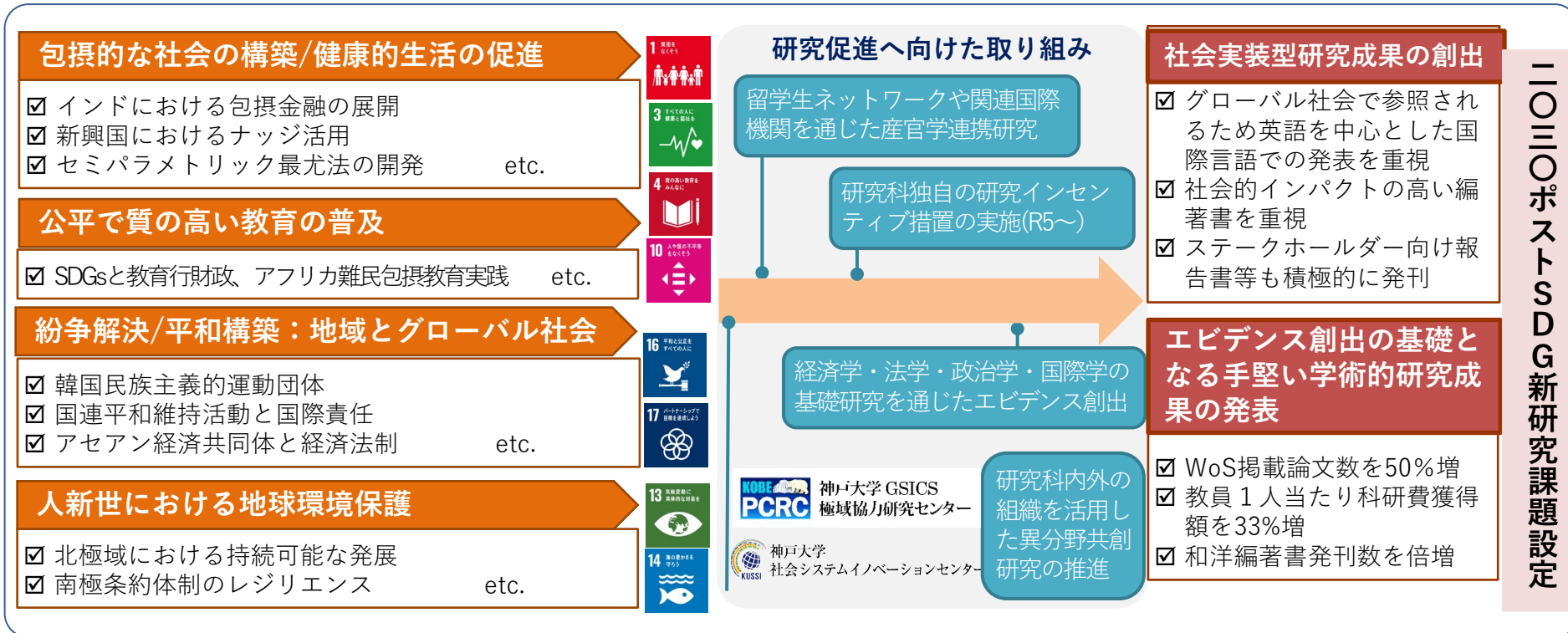
練習船機能の高度化と探査・観測機能の付加による海事海洋分野の先端研究活動の拡大

- (1) 航海・機関に関する実海域運航データおよび様々なセンサーによる海洋情報の収集機能
➤ 海技士養成だけでなく海事海洋人材育成のための研究展開
- (2) 運航データ陸上転送・共有システムによる運航情報のリアルタイム転送機能
➤ 自律運航船技術開発研究の展開
- (3) 船舶位置や方位を自動制御する自動船位保持機能 (DPS)
➤ 厳しい海象での海洋調査(海洋観測、海底探査)、海洋開発等への研究展開
- (4) 海洋調査に関する先端観測機器群による長期や連続調査・海洋底探査機能
➤ 海洋や海底の状況や状態調査、海洋環境、海洋開発に資する研究データの収集と活用
- (5) 災害時の緊急物資供給支援に係る機能
➤ 飲料水・雑用水供給機能、陸上への電力供給機能、支援物資コンテナ輸送スペース

地球的課題解決に向けた国際協力研究：エビデンスに基づく社会実装 ～国際協力研究科 (GSICS)～



地球的課題(SDGs)解決志向の異分野共創研究を通じて、エビデンスに基づく国際協力のあり方を提示し、研究成果を社会実装する。



注 目 科研基盤 A 「SDGsと教育行財政に関する比較研究」 (2022-2025)

審査委員評価より抜粋：「本研究は、教育行財政の視点から教育の質と公平性について包括的な視点を持ち、アフリカ、アジアを対象に同じ研究枠組を応用して国際比較分析を行うことで、SDGs達成への貢献を試みるという実践的な政策研究で、学術的意義がある。教育の質と公平性、SDGsの目標達成への貢献など、期待される成果も大きいといえる。」

注 目 挑戦的研究(開拓)「人新世における南極条約体制のレジリエンス」 (2021-25)

審査委員評価より抜粋：「地球システムと人類社会システムが一体化する人新世下での法学研究がいかにあるべきかという問題意識の下、モデルケースとして南極条約体制(ATS)を取り上げ検討するもの。100年先の南極の姿を自然科学の力を借りつつ構想しながらATSを検討するスケールの大きさから、研究の挑戦性を高く評価する。国際法学体系への変革への貢献のみならず、法学研究一般のあり方へのインパクトも見込まれる。」

参 考 国際協力研究科 DATA (第3期中期計画終了時の実績)

- 研究活動につき「特質すべき高い質にある」と評価(大学内2研究科のみ)
- 競争的外部研究資金教員1人当たり受入額が総合文系で全国3位
- 論文の55.1%、著書の38.5%を外国語で発表
- 外国語論文の38.0%が査読を経て発表

新たな科学技術や学問領域を生み出すイノベーション・エコシステムの構築



～科学技術イノベーション研究科～

4つの自然科学系分野（バイオプロダクション、先端膜工学、先端IT、先端医療・製薬学）と社会科学系分野（アントレプレナーシップ）を教育研究の柱とし、これらが互いに融合することにより**新たな科学技術や学問領域を生み出す**とともに、人材育成・研究開発・事業化が効率よく循環する**イノベーション・エコシステムを構築**することで、本研究科が科学技術イノベーション創出を牽引する拠点となることを目指す。

バイオプロダクション分野

革新的なバイオテクノロジーやバイオプロセスの創成

標的製品群



インパクト

新学問・新産業の創出

イノベーション・エコシステムの形成

バイオエコノミー社会の実現

カーボンニュートラル社会の実現

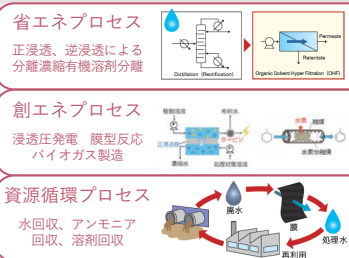
研究の強み・実績

- バイオものづくりに関する最先端研究設備、バイオマス発酵生産の実証プラント、バイオ医薬品のGMP製造プラントを整備しVR化
- 新たなバイオテクノロジー基盤や細胞の育種技術、バイオ×デジタル融合プラットフォーム開発等の最先端研究及び産官学連携による実用化プロセス開発を実施
- 先端バイオ工学推進機構（参画企業約50社）やバイオロジクス研究・トレーニングセンター（参画企業約30社）との協働により、産学連携や人材育成を強力に推進

先端膜工学分野

革新膜・革新的膜プロセスの創成

革新プロセス群



インパクト

水ビジネスの創出

新エネルギーの創出

CO2排出削減

資源循環型社会の創出

水・大気安全保障

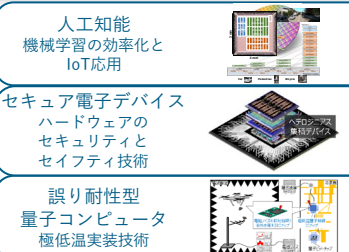
研究の強み・実績

- 先端膜工学研究拠点施設（6000m²）が大学キャンパス内に2015年2月竣工、先端膜工学研究センターを2019年4月に設立（海外14大学・膜センターと研究提携）
- 先端膜工学研究推進機構（参画企業約80社）との協働により、産学連携を強力に推進
- 産官学連携により、膜を用いた省エネ型水処理・ガス分離プロセス、膜利用創エネプロセス、環境循環型浄化プロセス等の開発を実施

先端IT分野

先端IT機器の高性能、省エネ・省資源化及び高信頼・高セキュリティを実現する半導体デバイスとシステム実装技術を開発

革新的実装技術



インパクト

Society5.0を実現するスマート情報通信デバイス

省エネ・省資源によるクリーン社会の実現

経済効果の高い次世代インフラ整備

環境負荷の小さいものづくり

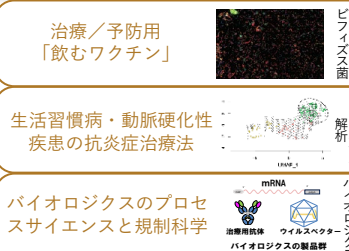
研究の強み・実績

- ハードウェアセキュリティとハードウェアセーフティにかかる学術分野の創出と展開をリード
- 半導体・電子機器のノイズ問題にかかる実務的な研究開発を産学共同・国際連携のもとで多面的に推進
- 超低消費電力IoTセンサーノードやデジタルヘルスケアデバイスの開発で世界を牽引
- 誤り耐性型量子コンピュータの実現に向けた極低温デバイス技術を産業界と連携して開発

先端医療・製薬学分野

「日本発」の革新的技術で新薬創出の停滞を打開し健康長寿を実現

目標製品群



インパクト

ワクチン療法のパラダイムシフト

早期発見・手術が困難ながんを克服

生活習慣病・動脈硬化の新規治療法開発

医薬品産業振興と世界の健康福祉への貢献

研究の強み・実績

- ビフィズス菌を応用した新規経口ワクチン製造技術を活用した、がんや感染症に対する革新的バイオ医薬品の研究開発
- 腫瘍免疫を標的とした遺伝子治療法の開発
- 臨床検体のシングルセル解析を用いたエビデンス創出 臨床研究による各種疾患の腸内細菌叢解析と腸内細菌製剤開発
- 医療産業特区の活用による産学連携と薬事規制対応に最適な環境

経済学と経営学の先端研究で知を創造し、社会課題に挑む ～経済経営研究所～



社会科学系国立大学附置研究所として最長の**伝統と国際性・先端性**

基本ミッション

- 経済学および経営学の先端研究の推進
- 異分野融合研究の分野開拓と推進
- 貴重資料・データベースの整理・構築・分析



4研究部門

1. グローバル経済研究部門
2. 企業競争力研究部門
3. 企業情報研究部門
4. グローバル金融研究部門

室・センター等の施設

1. 共同研究推進室
2. 機械計算室
3. 研究所図書館
4. 附属企業資料総合センター
5. 地域共創研究推進センター



国際共同研究の推進： 研究成果の国際的発信

Emerging Sources Citation
Index 所収の雑誌の刊行

(研究成果をシリーズとして出版)
・ The Japanese Accounting Review

研究データベースの整備・特徴ある研究

- ・ 国内最高峰の企業資料と経済系
データベースの構築と分析結果の公開
- ・ ラテンアメリカ研究、地域連携研究他
- ・ 室・センター等の施設

自治体・産業界・国内外の大学との連携

- ・ 共同フォーラム、シンポジウム、セミナー
等の開催
- ・ 高度人材の育成に資する教材開発



2030年ビジョン:「学理と実際の調和」の深化

先端研究で優れた知と
イノベーションの創出

産業界や社会の課題解
決に挑む応用科学研究

➤ 日本を代表する経済学・経営学の
研究拠点としての地位を維持

➤ 地域社会や企業、団体、他大学等と共創
したDXやSDGSなど応用科学研究の推進